

武蔵村山市立第五中学校



コミュニティ・スクール

保護者や地域の方々が、学校運営協議会を通じて学校運営に参画し、学校と地域が一体となってよりよい教育の実現を目指す、地域に開かれ地域に支えられる新しい学校づくりの組織です。この組織を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

〈五中コミュニティ・スクール成立の流れ〉

これまで五中では、PTA、青少対、西部地区おやじの会などの活動が盛んで、地域とも深い関わりをもった教育活動が行われてきました。この点からもコミュニティ・スクールの下地が整っていたと言えます。平成25年度のコミュニティ・スクール準備委員会の活動を経て、地域連携部・生活部・学習部の3つの部会を基に組織され、平成26年度より五中コミュニティ・スクールとして活動を開始しました。

〈教育目標〉

心身をきたえ、たくましく生きる力と豊かな人間性を備え、自主性と社会性に富んだ生徒の育成を目指し、次の目標の達成に努める。

- 正しく判断でき主体的に実行できる生徒（賢く）
- 互いに助けあい思いやりのある生徒（優しく）
- 心身をきたえ何事もやり通す生徒（たくましく）

〈目指す特色ある学校像〉

すべての生徒が、仲間とともに学び成長することができる学校

- ア 生徒一人一人が主体的に学力と体力の向上に取り組み、豊かな個性と能力の伸長を図る
- イ 自他の人権を尊重する精神のもと、仲間との集団生活を大切にし、豊かな心と社会性を育む
- ウ 保護者・地域の願いを受け止め、地域に貢献する活動を通して地域・社会の一員として自覚を高める